

**令和 2 年度**

# **主要施策成果表**

**(一 般 会 計)**

**(国民健康保険特別会計)**

**(後期高齢者医療特別会計)**

**(介護保険特別会計)**

**(農業集落排水事業特別会計)**

**(幸手駅西口土地区画整理事業特別会計)**

**埼玉県幸手市**

令和2年度の主要な施策の成果を地方自治法（昭和22年法律第67号）  
第233条第5項の規定により提出します。

令和3年9月1日提出

幸手市長 木村純夫

# 令和2年度主要施策成果表

## 目 次

### 1 一般会計

(1) 一般会計決算概況報告 .....	5
(2) 一般会計決算状況係数表 .....	10
(3) 一般会計契約の状況 .....	58
(4) 各部門における主要な施策	
・ 新型コロナウイルス感染症関係について .....	77
・ 議会関係について .....	85
・ 総務関係について .....	89
・ 民生関係について .....	115
・ 衛生関係について .....	143
・ 労働関係について .....	167
・ 農林水産業関係について .....	169
・ 商工関係について .....	175
・ 土木関係について .....	181
・ 消防関係について .....	187
・ 教育関係について .....	191
・ 財産運用の推移について .....	227

### 2 特別会計

(1) 国民健康保険特別会計 .....	233
(2) 後期高齢者医療特別会計 .....	253
(3) 介護保険特別会計 .....	259
(4) 農業集落排水事業特別会計 .....	283
(5) 幸手駅西口土地区画整理事業特別会計 .....	291

※ 令和3年4月に事務分掌の変更を行ったため、令和2年度担当課名と令和3年度担当課名が異なる事業があります。その場合、令和2年度担当課名に括弧書きで令和3年度担当課名を併記しております。

# 一 般 会 計

## **(1) 一般会計決算概況報告**

## 一般会計決算概況報告

令和2年度に幸手市が執行いたしました主要施策につきまして、地方自治法第233条第5項の規定により御報告申し上げます。

私は、市長就任以来、一貫して「市民本位の行政」、「未来志向のまちづくり」の市政運営を推進しております。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策に取り組むとともに、幸手市の更なる発展のため、以下の施策を実施いたしました。

まず、国の新型コロナウイルス感染症対策に基づき、特別定額給付金、子育て世帯への臨時特別給付金、ひとり親世帯臨時特別給付金を支給いたしました。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、感染拡大防止のため、マスクや消毒液の備蓄、避難所等備蓄資材の購入、公共施設のトイレ改修工事などを実施いたしました。加えて、市指定ごみ袋の無償配布、水道料金の負担軽減、医療機関や介護福祉施設等への応援給付金、新生児特別定額給付金、ひとり親家庭子育て支援臨時給付金、子育て世帯への幸手産特別栽培米コシヒカリの給付、全市民へのハッピーエール応援券の配布、小規模事業者等への応援金など、新型コロナウイルス感染症で大きな影響を受けた地域経済や市民生活を支援するための施策を実施いたしました。

そのほか、各分野で申し上げますと、総務分野におきましては、幸手市公共施設等総合管理計画を推進するため、建築物系公共施設に関する複合化、廃止、長寿命化等に取り組むための具体的な方向性を示すことを目的に、幸手市公共施設個別施設計画を策定いたしました。また、人口の現状分析及び将来推計人口の見直しを行い、幸手市人口ビジョンを改定するとともに、人口減少及び地方創生の継続的な取組に向けて、第2期幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定いたしました。さらに、マイナポイントの予約・申込手続の支援を市役所特設ブースにて実施したほか、交通安全対策として、南地区の生活道路の一部に、時速30キロの速度制限を定め、歩行者や自転車の安全な通行を確保するため路面標示を行いました。

民生分野におきましては、支え合いの中で安心して暮らしていける共生社会の実現を図るため、第2次幸手市地域福祉計画を策定いたしました。また、障がい福祉施策を計画的に推進するため、第6期幸手市障がい福祉計画及び第2期幸手市障がい児福祉計画を策定するとともに、第3次幸手市障がい者基本計画の見直しを行いました。

衛生分野におきましては、各種検診や予防接種を実施したほか、子育て支援の充実を図るため、令和2年10月からの定期接種化に先駆け、ロタウイルスワクチン接種費用を独自に4月から助成いたしました。また、新型コロナウイルスワクチン接種に向けた準備を開始いたしました。

農林水産業分野におきましては、農業の生産性向上や経営安定のため、農業者や農業団体に補助を行いました。また、農業基盤整備のため、水路改修などに係る負担金を支出したほか、水路の草刈り、泥上げなど地域活動により維持管理を行う団体に補助を行いました。

商工分野におきましては、市内の商工業振興のため、商工会、商業協同組合、商店会に補助を行うとともに、商店街における歩行者の安全対策とまちの景観向上のため、商店街街路灯の維持管理を行う団体に補助を行いました。また、企業と連携を図りながら市内の雇用促進を図るため、幸手中央地区産業団地に事業所を新設した企業に奨励金を交付いたしました。

土木分野におきましては、安全・安心で円滑な通行を確保するため、市道1494号線及び市道1-12号線道路舗装工事を実施いたしました。また、老朽化する橋りょうの長寿命化を図るため、橋りょう点検を実施いたしました。

消防分野におきましては、埼玉東部消防組合に負担金を支出したほか、地域の防災力向上と防災意識の高揚のため、自主防災組織の設立、防災資機材の購入、防災訓練の実施及び防災士資格の取得に対し補助を行いました。また、防災機能の向上のため、埼玉県地上系防災行政無線の再整備に関する負担金を支出いたしました。

教育分野におきましては、児童・生徒が過ごす学校施設の衛生面及び環境面の向上を図るため、小・中学校のトイレ大規模改修工事を実施いたしました。また、GIGAスクール構想に係るタブレット端末を全児童・生徒に1人1台整備するとともに、情報化社会に対応できる人材を育成するため、プログラミング教育ソフトを導入し、ICT（情報通信技術）教育環境を充実させました。

以上、令和2年度における主要施策を申し上げたところでございます。今後、人口減少や少子高齢化の進行により税収等が減少する一方で、社会保障関係経費の増加、公共施設等の老朽化・長寿命化対策、防災・減災対策など、引き続き多額の財源を必要とする事業や課題が多岐にわたっております。非常に厳しい財政状況ではございますが、持続可能な財政運営のため、国・県支出金などの財源確保に努めるとともに、前例に捉われることなく、様々な視点から全ての事業の総点検を行い、市政の進展を図ってまいります。また、新型コロナウイルスワクチン接種など、市民の皆様がこれまでの日常を取り戻すための支援を継続し、安心して暮らしていけるよう、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期してまいります。そして、市民の皆様が幸手市の将来に希望を持ち、安全・安心に住み続けられる未来ある開かれたまちの実現に向けて、これからも全力で取り組んでまいります。

ここに、令和2年度の決算報告に当たり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、御尽力、そして御協力いただきました皆様に、また、市政運営に御協力をいただきました皆様に心から御礼と感謝を申し上げますとともに、今後も変わらぬ御支援と御理解を賜りますようお願い申し上げ、御報告とさせていただきます。

令和3年9月1日提出

幸手市長 木村 純夫